

化まらぬ

通巻 第31号



かえるまた
本殿臺股の彫刻「みさき鳥」

ご挨拶

宮司 竹間 宗麿

桜、ツツジが走るがごとく咲き誇り、
筑後の夏を知らせる川渡祭（へこかき祭）
をお仕える時期となりました。

皆様のご参拝を心よりお待ち申し上げております。

さて、この度、当大社の国指定重要文化財御社殿のお屋根替工事の事始め「平成の大修理奉賛会発起人会」が開催されました。

大修理は単に、傷んだ御社殿のお屋根を修復することのみが目的ではありません。

装いを新たにしました御社殿に高良大神様にお鎮まり戴くことにより、大神様のよみがえり、御神威が益々発揚なされるという事でございます。

そして「平成の大修理」という事業を通して、御神恩に浴し、神と人との繋がり、さらに人と人との「和」が結ばれるという事になります。

それは家族、会社そして地域社会の発展へと繋がるものと存じます。

郷土の宝であり、皆様の心の拠り所として「高良山よみがえり」の大事業に一人お一人のご理解、ご奉賛をお願い申し上げます。

梅雨の時節柄、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



川渡祭（へこかき祭）

〔六月一日・二日〕

川渡祭にお参りすると昔から高良大神様の御神護を普段に増して授かると伝えられます。茅の輪をくぐり、御祈禱を受け、更なる幸福の縁に結ばれますよう御案内申し上げます。

◆茅の輪くぐり神事

六月一日・二日の両日、午前七時・十一時・十四時にお祓いを受け、神職と共に茅の輪をくぐり、心身を祓い清めて、無病息災を祈ります。茅の輪は一日の午前七時のくぐり初めより終日、ご自由にくぐるができます。



茅の輪くぐり

◆川渡祭特別祈願

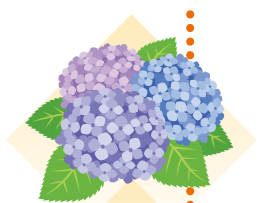
六月中受付
川渡祭期間中は、還暦・厄年は元より家内安全・諸願成就の特別祈願を受付けております。
赤い肌ものを身に付けて、昇殿いただき御祈禱を奉仕、特別祈禱札を授与致します。
祈願初穂料 五千円以上

◆川渡祭特別授与品

六月中授与



● 茅の輪守（上）
● へこかき守（下）



夏越大祓式

〔六月三十日 午後三時〕

大祓とは知らず識らずのうちに犯したであろう罪やあやまち、心身のけがれを祓い清めるための神事です。毎年六月（夏越）と十二月（年越）の二回、その月の末日に行います。平安時代の初期の国家の法制書『延喜式』にも記されており、古くから行われていたことがわかります。
ひな祭りの原形とされ、自分の罪けがれを移した「人形（形代）」を神事によってお祓いし、我が身をお清め致します。当社においても伝統に則り大祓式を厳修致しております。

古来からのわが国の伝統である大祓を受けて、家族そろって無病息災で、暑い夏を乗り越えましょう。
どなたでもご参列いただけます。

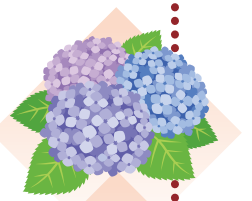
初穂料 一家族千円以上です。

※三千円以上の方には「大祓茅の輪守」授与



大 祓 式





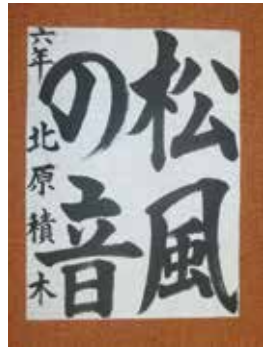
祭事のご案内〔七月～九月〕

●奉納書道展 七月二十日～

筑後一円の小中高・一般の方々から毎年千点近い作品の応募のある奉納書道展は、今年で四十四回目を迎えます。審査により選ばれた上位五百点ほどの作品を中門透堀内、展望所に特別展示致します。七月二十日の奉納奉告祭では、出展者の書道上達、身体健康を併わせ祈願した後、表彰式を行います。



ゆめタウン久留米での展示



第四十三回
高良大社宮司賞作品

八月月上旬から中旬にかけては、ゆめタウン久留米に展示を移し、さらに多くの人々に修練の成果をご覧いただきます。

●愛宕神社夏祭 七月二十三日

愛宕神社は、火伏せ、火難除けの神として篤く信仰されています。当日は多くの氏子崇敬者参列の上、火除けの祈願を致します。

●献灯祭 八月一日

社殿正面の石段(本坂)の両側には毎年灯籠が奉納されます。祭典では奉納者の安全や事業繁栄を祈念します。点灯期間は八月末迄(午後七時～十一時)。



131段の石段に灯りが点ります

●味水御井神社夏祭 八月七日

味水御井神社は水の神として信仰され、川渡祭では境内の泉にて禊が行われます。夏祭では、氏子崇敬者参列の上、地域の安全を祈念いたします。



境内の「朝妻の清水」は古くから地域を潤してきました

●大学稻荷神社夏祭 九月六日

多くの崇敬者参列の上、家内安全、無病息災を祈念致します。

●剣道大会 九月二十三日



心技体の修練が実を結びます

●市恵比須社例祭 九月二十五日

市恵比須社の石造りの夫婦恵比須神は、かつて筑後地方で最古の歴史を持つ「府中の市」に祀られていたもので、九州経済圏全体の守護神と称されています。例祭では、参列者の商売繁盛・家内安全・夫婦円満を祈願致します。

久留米市内の小中高校より剣士が集い、境内特設会場にて熱戦を繰り広げます。



夫婦円満





祭事の報告〔二月～四月〕

◆歳旦祭・初詣 一月一日

午前零時に新年を告げる太鼓が鳴り響き、多くの参拝者が神前に詰めかけました。本年は、昼ごろ、風雪強くなり厳しい正月となりましたが、新年の幸せを祈る多くの参拝者で賑わいました。



初詣

◆玉替祭 一月十二日

御祭神の御神徳の表れといわれる「宝珠みくじ」授与。各地の崇敬者の篤志が寄せられ、福を戴く多くの参拝者で賑わいました。

◆鏡開祭 一月二十一日

正月神前に供えた鏡餅を還暦

を迎えた男女が割り、ぜんざいとして参拝者にふるまいました。

◆子の日の松神事 二月八日

市内上津町の本山の松苗が、同地区の大人、子供達により古式ゆかしい装束姿にて運ばれ、境内に奉納植樹されました。



子の日の松神事奉仕者

◆紀元祭 二月十一日

建国を慕ぶ祝詞を奏上後、巫女による「浦安の舞」が奉奏され、皇室国家の弥栄と崇敬者の安泰を祈りました。

◆大学稻荷神社初午祭 二月十一日
初午祭に併せて、今年一年の運勢を示す粥占の結果報告もありました。



初午祭 早旦

◆祈年祭 二月十七日

古代より農耕と共に歩んできた日本人にとって五穀豊穡を祈る重要なお祭りです。農業はもとより、諸産業の生成発展をも併せ、参列者は実り多き年となるよう祈りました。

◆愛宕神社春祭 四月五日

当日は、雨模様でしたが多くの参拝者で賑わいました。

◆大学稻荷神社

稲荷教春季大祭 四月六日

当日は、雨模様で櫻が舞う中、厳肅に斎行されました。

◆琴平神社春季大祭 四月十日

高良山中腹の吉見嶽は、豊臣秀吉が陣を構えた戦国時代の要所でした。例年桜満開の中斎行されましたが、本年は雨儀にて、高良会館四階より遙拝しつつ、春季大祭が斎行され、直会では古き時代に思いを寄せつつ、和やかな一時を過ごしました。

◆昭和祭 四月二十九日

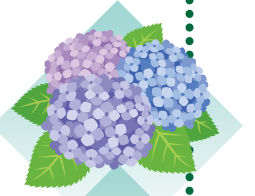
昭和天皇の御聖徳を仰ぎ、国の繁栄を祈念致しました。併せて江戸千家久留米太白会による献茶式が斎行され、境内にて、参拝者に薄茶の接待が行われました。



昭和祭・つつじまつり

◆山川招魂社春季大祭 四月三十日

高良山の麓、茶白山の山川招魂社にて春季大祭が斎行されました。参列者各々が英霊に対し感謝の心を捧げました。



兼務社紹介

鍮水日吉神社

◆御祭神

大山咋命（おおやまくいのみこと）又の名山末之大主神（やますえのおおぬしかみ）

◆鎮座地

久留米市高良内町字鍮水

四三五七―一番地

高良内第五町内の氏神としてお祀りされ旧鍮水集落の南端に明星山から西に派生する舌状台地の標高約四四メートルに鎮座しています。

創建年代や由来ははっきり分かりませんが、本殿床下から鳥居柱が発掘され、柱には文政二年（西暦一八一九）の年号が刻字されているので、それ以前より鎮座されていたと思われる。

平成三年九月二十七日の台風十九号により倒壊まではしないものの甚大なる被害を受け町内会、総代氏子、地域の人々の総意と誠心により平成九年三月に現在の

社殿に改築されています。

祭事は例年八月と十二月、二回行われ、夏祭りでは子供達が集まりお祓いを受け、神輿とともに町内を巡り清めて、境内の舞台では地域の人々により様々な奉納行事が遅くまで行われ賑わいます。

神社境内は四基の古墳からなる鍮水古墳群の中の二基で平成八年に久留米市教育委員会により行われた発掘調査では竪穴式

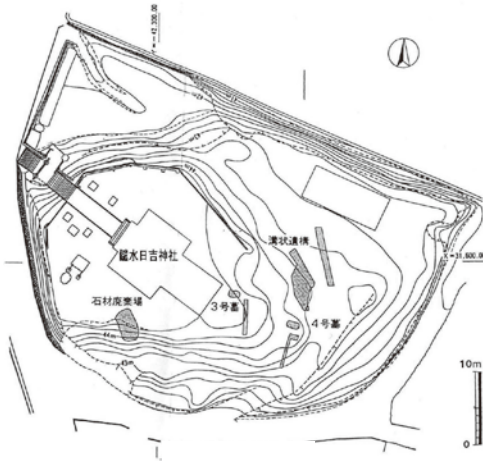


鍮水日吉神社本殿

小石室二基、石棺系石室一基が確認され、溝状遺構から土師器、須恵器、石器が、石材廃棄場所からは鉄器、石器、石鏃^{やじり}が出土されました。



愛宕神社の狛犬の横で発見された古墳



鍮水古墳群地形測量図（久留米市教育委員会）

◆境内社

愛宕神社

祭神は火産霊神
日吉神社に対面して祀られています。

元御神祠

祭神は不明
もとは今の陸上自衛隊久留米駐屯地内（字元御神）に祀られていたが現在の場所に移転されたと言われる。



愛宕神社 右 元御神祠

高良大社「平成の大修理」 奉賛会設立発起人会開催される

去る五月二十八日(木)久留米商工会館に於いて、高良大社「平成の大修理」奉賛会設立発起人会が開催されました。

今回の「平成の大修理」事業は、当社積年の懸案事項である国の重要文化財「高良大社本殿・幣殿・拝殿お屋根替え」工事を、国庫及び県と市の補助を受けながら遂行することを目的としており、さらに、この機会に併せて、斎館・授与所をはじめとする境内諸施設の整備を計画し、清々しいお気持ちでご参拝いただけるように充実に努めます。数年前から、関係者により計画と組織づくりが検討され、慎重審議を重ねて取り進めてきました。

神社関係各位にこの事業趣旨を御説明申し上げ、ご賛同戴いた皆様方に御案内の上、組織が発起され、規約案・会計予算案・役員人事案などが上程され、承認を戴きスタートした次第であります。

会議に於いて、高良大社崇敬会井手英会長を「平成の大修理奉

賛会会長」に選任し、副会長・常任理事などの組織も編成され平成二十九年度までの三年間に亘る一大事業が茲に産声をあげました。勿論、ご崇敬各位の篤志を賜り乍らの運営となります。皆様方の赤誠なる物心共々の御支援御協力を切に懇願致し、記念事業実施の御報告を申し上げます。



社殿・中門・透塀

高良大社「平成の大修理」記念事業概要

● 国庫補助及び福岡県・久留米市補助事業

- 一、御本殿・幣殿・拝殿 御屋根葺き替え等保存修理工事
(国の重要文化財)

● 高良大社記念事業

- 一、仮殿設置工事(三年度に亘る神様の仮御本殿を設置致します)
- 一、神饌所屋根葺き替え工事
- 一、中門及び透塀屋根葺き替え及び塗装工事
- 一、斎館・授与所改築及び会館並びに境内整備工事
- 一、土蔵修繕及び公衆便所新設工事
- 一、宝物館修繕及び収蔵宝物調査整理事業
- 一、奉祝記念事業実施ほか

● 総事業費 六一一、〇〇〇、〇〇〇円也

● 募財計画

国庫・県市補助金	二〇五、八〇〇、〇〇〇円也
神社 資金	二〇五、二〇〇、〇〇〇円也
奉賛目標金額	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇円也

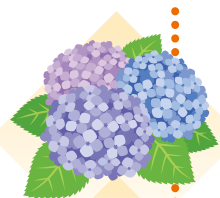
重要文化財

高良大社

平成の大修理奉賛会



かたり継ぐ
かたち伝える



高良山通信

篤志奉納

(順不同)

神恩感謝の真心により、ご篤志奉納がございました。

東京都 島山 秀信様
神戸市 田中 絹枝様
福岡市 北野 民子様
大分市 鹿子嶋 栄三様
有難く拝受致しました。

雅楽講習受講の報告

四月七日からの三日間、福岡市の香椎宮にて、県神社庁主催の雅楽講習会を受講いたしました。研修会受講は二度目でしたが、今回は宮内庁式部職業部にて首席楽長を務められた上明彦先生、豊英秋先生、大窪永夫先生の三先生にご指導いただき幸運に恵まれました。稽古は唱歌という歌に始まり、実際の演奏を一人づつ受講生の前で吹き、細かい演奏法について指導を頂き、合奏するという流れで進められました。緊張感一杯の講習でしたが、先生の演奏の音に触れる度にその世界観に引き込まれ、今まで経験したことのない感動を覚えました。

今回の研修で学ばせて頂いた経験を生かして、今後の奉仕に励んでいきたいと思っております。

権祢宜 岡部 吉高

第四回 高良山写真展募集概要

① 応募資格

年齢、性別、国籍を問わずどなたでも応募いただけます

② 応募期間

七月一日(水)から九月十三日(日)の間
(当日消印有効とします)

③ 展示期間

十月三十一日(土)から十一月二十九日(日)

④ 表彰日程

十一月二十三日(月)勤労感謝の日に斎行される新嘗祭(いなめさい)にて顕彰奉告の上、表彰します

⑤ 主催団体

高良山写真展実行委員会
事務局 高良大社紀田まで

⑥ 後援団体(順不同)

高良大社、高良大社崇敬会
福岡県、福岡県議会
久留米市、久留米市議会
西日本新聞社

⑦ その他諸注意事項

● お一人につき三点まで応募出来ます

● 作品は未発表のものに限り、返却致しません

● 作品の著作権は高良大社に帰属するものとしますので、社報や公式ホームページ等で使用させて戴きます

● その他詳細は高良大社公式ホームページを御覧下さい

崇敬会入会のご案内

自然豊かな高良山に鎮座する高良大社は、高良玉垂命・住吉大神・八幡大神の三柱を祀る、筑後国一の宮であり、その歴史は、古く御創建は西暦四〇〇年頃と伝えられています。また、高良大社には、国指定重要文化財など宝物、史跡が大切に護られて居ります。その祖先より受け継がれてきた歴史と郷土遺産を守り後世に伝えるための本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会下さいますようご案内申し上げます。

年会費

個人会員

正会員 三、〇〇〇円以上

賛助会員 一〇、〇〇〇円以上

法人会員

正会員 一〇、〇〇〇円以上

賛助会員 三〇、〇〇〇円以上

会員接遇

● 毎朝の日供祭にて会員皆様の心安泰ご隆昌を祈願致します

● 特別参拝が出来ます

● 崇敬会大祭に御案内致します

● 会主催の行事に御案内致します

● 高良大社宝物館を拝観出来ます

お問い合わせ先

高良大社崇敬会事務局

〇九四二一四三二四八九三

鎮守の杜

○御朱印を受ける方がここ数年多くなりました。

自分のことで恐縮ですが、私が朱印帳を持ったのが平成元年、中学二年生のときでした。その頃は御朱印を受けるのは年配者の方が多かったと思います。各社寺でニキビ面が朱印を乞うのが珍しく「君が御朱印を集めているの？」とよく聞かれたものでした。

時折帳面をめぐって「あのときはひどい雨だった」「自転車で三時間半掛かって遠かったわぁ」と昨日の事のように思い出します。

見知らぬ土地で日が暮れ不安になつて居たとき、声を掛けて戴いた駅員さん。

見ず知らずの若者を家に上からせてもらったあげく、ご馳走になった婆ちゃん……

朱印帳を通して各社寺や道中出会った方々の面影が目には浮かびます。

「人の情けが身にしみる」

参拝で各所の神仏の尊さに加えて多くの人との出会いを頂戴させてもらったことが有り難いことです。

今では御朱印を受けることより、授ける方が多くなりましたが、皆様に「お参りしてよかった」「ご朱印之恩にあ」と感じて戴けるよう今後とも精進させていただきます。
(長)

「たまたれ」 通巻三十一号

平成二十七年六月一日発行

発行者／高良大社社務所

福岡県久留米市御井町一番地

電話〇九四二一四三二四八九三

FAX〇九四二一四三二四九三六